

# 「あいかわ」の面白い風景を大搜索!

相川中学校2年生 京町通りで授業実施!



# 相川 あいかわらばん 瓦版

第4号

2013年10月25日発行

発行：佐渡市世界遺産推進課

電話 0259-63-5136

FAX 0259-63-6130

編集：佐渡市世界遺産推進課

新潟県教育庁文化行政課

世界遺産登録推進室

奈良文化財研究所景観研究室

9月27日に、相川中学校2年生を対象に京町通りで「あいかわ」の面白い風景を大搜索」と題した授業を実施しました。この授業は、学校の身近にある「京町通り」を見学しながら、「面白い!」「興味がある!」と思える風景をポロロイドカメラで写真に切り取ることで、地域を再発見しようというものです。

現地でのワークショップに先立って、9月20日には佐渡市世界遺産推進課の山口学芸員が、佐渡の世界遺産登録に向けた取組の紹介、まちをみることの面白さやワークショップの内容について説明する事前授業を行いました。その一週間後、午後の授業時間を使わせていただき、京町通りを「あいかわ発見まつぷ」片手に実際に歩きながら、グループごとに写真撮影を行いました。

慣れないポロロイドカメラを手にアコレ楽しみながら、まちの一瞬を写真に焼き付けていきました。その場ですぐに写真が現れることも相まって、各グループ思い思いの相川を捉えることができました。

撮影後は、相川ふれあい集会所に集合して、大きな地図に写真を貼り付け、撮影地点を記入し、各グループの一番好きな写真を決定!限ら



れた時間のなかで、すべてのグループが予定していた作業を終えることができました。

10月4日には、それぞれの写真を撮影した理由や相川のまちのことなどを大きな地図に書き込み、各グループのポスターは完成しました。

学区が広い相川中学校ですが、今回の授業をきっかけに、相川の歴史や文化を楽しみながら肌で感じてもらえればと考えています。今後も学校の先生方にご協力いただきながら、相川の良さを感じてもらえるための取組を小中学校で継続していきたいと考えています。

なお、今回作成した各グループのポスターは、左記のとおり相川で展示されます。ぜひ足をお運びいただき、中学生の捉えた相川・京町通りをご覧ください。

11月2日9時10分~14時40分

相川中学校文化祭「入場自由」

11月3日10時~15時

佐渡金銀山世界遺産登録祈念茶会

〔佐渡奉行所、別途茶席券代がかかります〕

11月4日~30日

あいかわ発見展示会「京町茶屋・入場無料」

それぞれのグループが撮った写真。その全部がとてもおもしろく、「あっ、なるほどー！」と思わせるものばかりでした。本当は全部をご紹介したいのですが、誌面の都合上、全部をご紹介できません。その代わりに、先生役を務めた佐渡市世界遺産推進課の山口由加利学芸員が各班とっておきの1枚を選んで、成果をご紹介します。

[全部をご覧になりたい方は1面掲載の展示会(相川中文化祭&相川地区展示会等)へお越しください!]

あいかわ  
見まっ  
発まっ  
ぶ

作品集ー相川中学校2年生編



京町茶屋から眺める、相川のまちと海

1 班

今回のまちあるきの、人気撮影スポットのひとつでした。1年を通してさまざまな表情を見せる相川の手と、近世から今まで変わらず歴史を刻み続けている相川のまち。つい立ち止まって、見入ってしまいます。



お稲荷さまの鳥居とお社

2 班

お稲荷さまを撮影した班はほかにもありますが、これは一味ちがいます。その人がどのように町並みを見ているのか、写真にはそれが素直に表れます。カメラマンさんは、朱色の鳥居が気に入ったのでしょうか。



下町へとつづく長坂

3 班

やはり、相川で坂道は欠かせないですね。たくさんある坂道も、ひとつひとつ表情が異なり、それぞれにまちの記憶が刻まれているのだと思います。今回は上町を歩きましたが、次は階段を下りて、下町を歩きたいですね。



気になる、のら犬カフェに

4 班

カメラマンさんは、入口の向こうにどんなお店があるのか気になったのでしょうか。かわいらしいイラスト入りの看板や、入口から垣間見える、お手入れされた緑いっぱいの庭。建物がいきいきして見えます。



相川のシンボルはやっぱりこれ

5 班

相川といえばやっぱり道遊の割戸ですね!ほとんどのグループが撮影していました。世代を超えても、シンボルとしての割戸の存在感は変わらないようです。大切な景色のひとつですね。



レトロな郵便ポスト

なんだか懐かしい郵便ポストです。平成生まれのカメラマンさんの目には、どのように映ったのでしょうか。まちの片すみに何気なくある郵便ポストも、相川の町並みをつくり出しているもののひとつですね。

6 班

# 映像でふりかえる昭和の相川

昔の映像上映イベント開催

NHK番組 『幻の金山 大工町』 (昭和58年11月13日放送)



こんにちは。トッキッキです。

今回は、昔の映像上映イベントのことを報告するよ！

このイベントは9月27日の夜に第2分団の方を対象に、相川ふれあい集会所で開催したんだ。

というのも、この映像が大工町を中心とした昭和50年代の相川を映したものだっからね。まずは、お膝元からということで、上町

の方に集まってもらったよ。

映像は相川在住の方からご提供いただいたもので、昭和58年に『幻の金山 大工町』と題して放送されたものなんだ。前半は大工町の歴史や住んでいらつしやった方のことを、インタビュを交えながら記録したもので、後半は金山での仕事のことなどを特集したもの。そして最後には、再び大工町に戻って、大工町に住んでいた方がどういう想いでまちの将来を見つめて生きておられたのかを描いていたんだ。

今から30年前は、金銀山も操業休止前で、観光客も増え続けていた時代。それでも大工町は徐々に人が減っていたんだ。そんななか、お住まいのみなさんがそれぞれの考え方、それぞれにできることを通じて、自分たちが大工町、さらには相川をなんとか守っていきたいという想いを持っておられたことにトッキッキはとっても感動したよ。

こうした想いは、今も色あせないし、今にも通じることがたくさん。この映像は、トッキッキが生まれる前のことなんだけれど、本当にいろいろな考えさせられる映像だったなあ。

そんなまちの記録をみる上映イベント。

何人来ていただけるのかなど・・・トッキッキは不安だったんだけど、そんな不安はすぐに消え、開始30分前からどんどんとご来場いただき、なんと上映開始の7時にはふれあい集会所は満席状態！40人くらいの方にご参加いただいたよ。

そして、上映が始まると、いろいろな人が映像に登場



するたびに歓声が！みなさん、名前まですぐにわかったようで、本当に驚きました。大工町に生きた人のことは、今もみなさんの記憶の中にクッキリと焼き付いているんだとトッキッキは実感したのでした。

上映が終わった後に、参加いただいたみなさんに「20年後の相川人へ」と題したカードを書いてもらったよ。「相川に誇りをもつていこう」「もっと元気な相川を取り戻せるように」といった内容のほか、未来の相川住民になにかを投げかけるようなメッセージをたくさんいただきました。そのなかには、相川の町並みを不安に思っている投げかけもありました。まちはこうやって受け継がれていくんだよね。今の相川住民も、未来の相川住民も住んでいて楽しくなる町並みを目指していかないとね。

そんなこんなで、今回の上映イベントは盛況のうちに終了しました。でも、きっとまだまだ相川にはこうした昔のまちのようすが記録された「お宝映像」が眠っているはず！個人的なまちの記録でもテレビの録画でも・・・(8ミリフィルム、16ミリフィルム、VHSビデオなど)。明治から昭和の古い写真も大歓迎だよ。よくわからないけれど残っているよというのでも構いません。もし、うちにあるよ！という方がいらつしやいましたら佐渡市世界遺産推進課までご一報を！

お寄せいただいた際には、現在でも見ることができると記録媒体に変換のうえ、お返しします。その際、市でも複製したものを収集させていただけるとうれしな！いい記録映像は、地域のみなさんと一緒に上映会などを開催していきたいなど思っています。ぜひご協力ください。

今回の上映会。第1&3より5分団にお住まいのみなさんでご覧になりたい方がいらつしやいましたら、下町でも開催します！興味をおもちの方は、佐渡市世界遺産推進課までお知らせください。

## 世界遺産座談会予告

### 第4回: 文化的景観の保存計画って?

相川の文化的景観を守るためのルールや今後目指していきたい活動の案をご説明します。それに対して、ご意見をいただくかたちで進めていきたいと思います。

(11月下旬～12月開催予定)

◇上町(第2分団)

相川ふれあい集会所

◇下町(第1分団・第3～第5分団)

あいかわ総合開発センター 和室

日時: 11月下旬

相川地区(下町&上町)

※詳しくは近日中に回覧予定!

相川で地域の方からいろいろなお話を伺う機会が増えました。先日、仕事も兼ねて相川で彷徨っていると、声をかけてくれた女性の方が、観光で賑わっていたころの相川のお話を聞かせてくれました。

地域の皆さんからそういうお話を伺いつつ、調査でわかった価値をお伝えしたり、特別公開の場所をめぐるまちあるきイベントを次の通り開催します。

当日はそれ以外にもさまざまな催しを計画中! 詳しくは改めて回覧いたします!

◇「地域の皆さんと歩く  
相川再発見の旅」  
開催決定!

## 文化的景観をまちづくりに

若林 篤男

(佐渡市世界遺産推進課)



私は真野地区出身で、佐渡にUターンして12年目になります。学生時代、中央から見た地方というテーマで研究をしたことで、自分の故郷を見つめ直すことができました。

みなさんは、自分たちの地域をどのようにお考えでしょうか。今の生活に満足されている方、今のままでいいのか、今後どうなるか不安を感じている方、様々だと思います。現在佐渡市では、相川のまちなみを、鉱山とともに歩んできた人々の生活を物語る「文化的景観」として、未来へと受け継いでいくための仕組みづくりを進めています。身近に広がっている当たり前の生活や風景、しかしそれは相川にしかないもの、相川だからこそ、といえるものであり、その部分に光をあて、世界遺産とともに生き続けるまちづくりにつなげていきたいと考えています。

まずは、「あいかわらばん」や世界遺産座談会などを通じ、みなさんと一緒に、地域を見つめ直すきっかけづくりができればと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

往  
復  
書  
簡

その4

## 第5号の 予告

12月10日  
刊行予定

- 相川地区の景観計画改訂
- 世界遺産座談会報告
- 相川のまちあるき報告

ほか

## 編集後記

▼第3号刊行後、感想やお問い合わせをときどき佐渡市世界遺産推進課にもいただくようになりました。どれだけの方の眼に止まっているのか、毎回不安になりつつ、文化的景観保護や世界遺産登録の取組をご紹介したり、まちの話題を知っていただきたく刊行しています。

▼今回は2つのイベントの様子をお伝えしました。相川という素敵なまちの価値をみなさんと共有していくための取組を今後も続けていきたいと思えます。ご参加ください。こんなイベントをしてほしい、「あいかわらばん」でこんな特集をしてほしいなど、文化的景観・世界遺産に関するご意見がございましたら、佐渡市世界遺産推進課までお寄せください。

上記のコーナーでは、行政担当者の相川への思いのほか、住民の皆さんからの声(200～300字)もお待ちしております。FAX、電話、メール、郵便にて下記宛先「あいかわらばん編集部 みんなの声係」までどしどしお寄せください。氏名をお忘れなく!

世界遺産・文化的景観  
に関するご意見はお気軽にこちらまで

佐渡市役所 世界遺産推進課

電話: 0259-63-5136

FAX: 0259-63-6130

メール: <http://www.e-sadonet.tv/~citysadofm>

/9isan.html からお問い合わせフォームにて

ウェブサイト: <http://www.city.sado.niigata.jp/mine/>